

がみこの映画道



スパイダーマン



昔観た漫画チックな物もよかったけど、やはりどうやって撮っているのかわかんないのも、すごかった。言葉が哲学的で、私には難しく感じた。アメリカのコミックのヒーローは、60年代、70年代のファッションが、ヒーローにマッチしてたので、少しスパイダーマンやゴブリンが浮いてた気がする。こんなの考えてたのは、私だけだと思う。でも、バットマンは都会的で、今のファッションでもO.K.あの蜘蛛の巣はどうなるんだろう？N.Yは蜘蛛の巣だらけ？あの逃げた蜘蛛は、スパイダーマンを作り続ける？そう考えただけでも、蜘蛛嫌いの私は、ぞーっとした。昔から、唯一許せる蜘蛛が、スパイダーマン。最初観た時、あのデザインに惚れてしまった。



スコーピオン・キング



蜘蛛の次は、蠍か・・・時間つぶしで観たけどおもしろかった、というか飽きさせない。ハムナプトラも、次から次で飽きさせなかったけれど、同じ。これでもかって、荒唐無稽のアイデアで、少しの矛盾や疑問はおいてきて、楽しんだが勝ち。まさに時間つぶしには、いい映画です。



エピソード2



アナキン・スカイウォーカーが、かっこいい。ヨーダが素早く動いてた。観て面白かった。あの子供は、誰？次が早く観たい！！それでいいじゃあないか、この映画は・・・



アメリ (ビデオ)



やっと観ました。アメリ・・・北野武がブルーなら、アメリはグリーンがかかっている、昔っぽくて良かった。見逃しそうなのを、見つける楽しみと言うか、ウフツと笑う楽しみというか、自分の波長に、合っている映画だった。本当に分かり合える人、好きな人が見つかるのっていいね、と思わせてくれたラストシーンでした。それが最初の勘違いであったとしても、いいじゃあない。観た後、幸せな気分になしてくれた。



山の郵便配達 (ビデオ)



これもやっと観ました。父には父の、母には母の、子供には子供の考えが、思いがあって、淡々とした映画だけれど、とてもよかった。親が子供を頼もしく思うとき、教わらなくても親から教わっている事、いろいろな思い出・・・人を思いやる気持ち・・・などなど・・・道の、足場の悪さが、人の実直さを表しているように思いました。自分が、優しくいられるように切に願う、今日この頃・・・